

# 地域公共交通のあり方について —兵庫県朝来市を走る JR 播但線の利用促進を例に—



ゼミ生①

# 地域公共交通  
# JR 播但線  
# 利用促進

## DATA

- **主な連携先・メンバー**  
兵庫県立生野高等学校 教諭 牧野 尚妙氏
- **活動地域**  
兵庫県朝来市を中心に JR 播但線 寺前駅～和田山駅間
- **活動期間**  
2023 年度～継続中
- **活動資金**  
なし

## 目的

兵庫県朝来市を走る JR 播但線は、利用者減少により経営状態が圧迫され継続が困難な状況にある。そのため、JR 播但線の利用促進について検討を行う。

## 連携に至る経緯

ゼミ生主体で実施する公募論文コンテストにて「JR 播但線の利用促進」を研究テーマに設定し、朝来市に相談したところ、同市主催の「令和 5 年度朝来市地域公共交通ワークショップ」への参加を勧めていただいた。

## 活動内容

2023 年および 2024 年には、吉田ゼミの学生と教員が朝来市主催の地域公共交通ワークショップに参加した。

本ワークショップは、朝来市民から公共交通に対する意見や要望を聞き、市の新たな公共交通体系の確立に向けた方針決定を行うことを目的に毎年開催されている。

2025 年は朝来市役所様の紹介で、兵庫県立生野高校様主催の「第 2 回生野高校生とつくる朝来市公共交通利用促進プロジェクト」（2025 年 4 月 20 日開催）に参加し、活発な意見交換を行ってきた。本プロ

ジェクトは、生野高校ゆめいく公共交通班主催で高校生と大人が密接に関係し合えるコミュニティをつくること、公共交通機関についての意見交換会を通じて思いや考えを共有することを目的としている。

2023 年 9 月に実施した朝来市の高校生を対象とした JR 播但線促進に関するアンケート調査の結果を取りまとめ、関西大学社会安全学部『社会安全学研究』第 15 巻（2025 年 3 月発行）に掲載された。

<[https://www.kansai-u.ac.jp/Fc\\_ss/center/study/pdf/bulletin015/bulletin015\\_note\\_3.pdf](https://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/center/study/pdf/bulletin015/bulletin015_note_3.pdf)>



ゼミ生②

討論②



討論①



第 2 回朝来市公共交通利用促進プロジェクトチラシ

## 活動の成果

- ≫ 高校生をはじめとした地元住民との意見交換会
- ≫ 高校生など若い世代の声を反映させた利用促進策の提言

## 今後の課題・目標・展開の可能性

- ≫ 交通・観光連携型事業による観光産業の再生・高付加価値化（観光協会等）
- ≫ 交通連合（運輸連合）による地域交通の活性化（鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者等）

社会安全学部 教授 吉田 裕 Yoshida Yutaka



1995 年、西日本旅客鉄道株式会社（JR 西日本）に入社。2006 年より同社安全研究所の研究者となり、災害心理や社会心理を研究。2023 年より関西大学社会安全学部の教員となる。



## 連携先からの一言

大切な公共交通機関を地域の方々と一緒に守っていききたいという生徒の思いから、この活動が始まりました。関西大学の皆様にご協力いただき、大変心強かったです。貴重なご意見をくださり、ありがとうございました。

（兵庫県立生野高等学校 教諭 牧野 尚妙氏）